



報道関係各位

2016年4月20日

東京経済大学ニュース

Vol. 04

東京経済大学ホームページ : <http://www.tku.ac.jp/>

CONTENTS

特集1 2017年度から「^{しんいっそう}進一層科目」がスタート

ゼミとキャリア教育を重点的に強化します

特集2 学びながら学部を選べる「キャリアデザインプログラム」

ロゴマーク・入試日程が決定

東経大インフォメーション

- ① 新任役職者紹介
2016年4月1日付で4学部長ならびに図書館長が新たに就任しました
- ② 2016年度入試報告
2年連続で志願者が増加。推薦・AOは過去最高に
- ③ 経営学部3年 伊藤 伴(ばん)さんがエベレスト登頂に再チャレンジ
4月8日(金)に日本を出発、5月中旬登頂予定
- ④ 2015年度TKU進一層表彰式
学芸、資格、スポーツや文化、ゼミ活動でのめざましい活躍を評価
- ⑤ 年間14,000名超が利用。100円朝食継続中
2016年度も全授業日程で実施
- ⑥ 東京経済大学大学案内を5月20日(金)に発行
「Space 2017」と「ゼミする東経100カラット」が間もなく登場します
- ⑦ 2016年度入学式挙行政
満開の桜が新入生をお迎え
- ⑧ 都立武蔵村山高校と、高大連携教育協定締結
本学の連携協定校は全17校に
- ⑨ その他
短期日本語・日本文化研修プログラム/2016年度特別企画講義の開講について/図書館キャラクター「とけぽん」に決定!/2020年に迎える、創立120周年に向けて

特集1 2017年度から「^{しんいっそう}進一層科目」がスタート

～ゼミとキャリア教育を重点的に強化します～



経営学部長
近藤浩之教授

東京経済大学は教育面で、ゼミとキャリア教育の2つを重点的に強化することを決定しました。2017年度から経済・経営・コミュニケーション学部でスタートする「進一層科目」は、ゼミ（演習）、キャリア科目、そしてそれらの基礎となる論理的思考力やコミュニケーションスキルなどを養うアカデミック・リテラシー科目を三位一体で学ぶものです。主体的に考え行動できる力を育成することを狙いとした今回の新しい取り組みは、チャレンジ精神を意味する「進一層」という東京経済大学の建学の理念をカリキュラムレベルで具体化するものでもあります。

今回の取り組みは、本学がこれまでも力を注いできたゼミとキャリア教育それぞれを個別にさらに充実させることに加えて、両者の連携によって教育面における相乗効果を図ろうとするものです。

キャリア科目は、社会人としてどのような知識やスキルが必要か、勉学を含めて学生時代に何をしておくべきかなど、さまざまなことに気づく貴重な機会を提供します。キャリア科目で得た気づきを今度はゼミで実践することで、自主性、積極性、チームワークが求められるグループ研究などはさらに充実したものになりますし、それによってキャリア科目で得た気づきも自分の力として定着していきます。また、そのようにしてゼミに積極的に関わるようになれば、キャリア科目にもさらに実感をもって取り組んでいくことができるようになっていきます。つまりゼミとキャリア教育には相乗効果が期待できます。さらに、アカデミック・リテラシー科目によってそれぞれの取り組みは下支えされ、より活性化します。

また、学生は就学中にジェネリックスキル、すなわち職業・社会生活でも必要とされる技能の習得が求められます。社会が求めているまさにそのスキルを養成するには、ゼミ、キャリア科目、そしてアカデミック・リテラシー科目を有機的に結びつけた「三位一体」の教育が必要なのです。そうした三者の連携によるジェネリックスキルの養成成果を、学生の皆さん自身と教職員の双方がチェックできるようにするため、「学修ポートフォリオ」の導入も併せて予定しています。



しんいっそう
「進一層」とは

東京経済大学の前身、大倉商業学校の創立者大倉喜八郎は、明治・大正期に日本経済の基盤となる建設、電気、製鉄、繊維など 200 以上の企業を設立したチャレンジ精神あふれるビジネスマンでした。

その大倉は、“一步前に出て道を切り開くチャレンジ精神”を「進一層」と呼び、建学の精神としました。

各学部の進一層科目

アカデミック・リテラシー科目		アカデミック・シンキング／アカデミック・ライティング
経済学部	キャリア科目	基礎学力講座Ⅰ(数的処理)初級／基礎学力講座Ⅱ(作文)初級／基礎学力講座Ⅰ(数的処理)中級／基礎学力講座Ⅱ(作文)中級 キャリアデザイン入門／キャリアデザイン発展／職業選択とキャリア形成Ⅰ(導入)／職業選択とキャリア形成Ⅱ(発展)／ジェンダーとキャリア形成／雇用の変化とキャリア形成／地域インターンシップ／インターンシップ／学生の地域貢献
	演習科目	フレッシュヤーズ・セミナー a(履修必修)／ニュースで学ぶ経済学／教養ゼミ／総合教育ワークショップ／英語で学ぶ教養／演習／総合教育演習／研究ノート／総合教育研究ノート／卒業研究／総合教育研究／卒業演習 外国語講読／英語経済セミナーⅠ／英語経済セミナーⅡ／特別外国語セミナー／中国語経済セミナー
	社会人基礎力 持続的就業力	
	問題解決力 リーダーシップ チームワーク 統合的学習経験 創造的思考力	

アカデミック・リテラシー科目		アカデミック・シンキング／アカデミック・ライティング
経営学部	キャリア科目	アカデミック・コンパス／学生の地域貢献／職業選択とキャリア形成／雇用の変化とキャリア形成／ジェンダーとキャリア形成／キャリアデザイン入門／キャリアデザイン発展／地域インターンシップ／会計PPへの入門講座
	演習科目	フレッシュヤーズ・セミナー a／フレッシュヤーズ・セミナー b／教養ゼミ／総合教育ワークショップ／英語で学ぶ教養／演習／総合教育演習／英語で学ぶ経営学／研究ノート／総合教育研究ノート／卒業研究／総合教育研究
	社会人基礎力 持続的就業力	
	問題解決力 リーダーシップ チームワーク 統合的学習経験 創造的思考力	

アカデミック・リテラシー科目		アカデミック・シンキング／アカデミック・ライティング
コミュニケーション学部	キャリア科目	アカデミック・コンパス／キャリアデザイン入門 キャリアデザイン発展／職業選択とキャリア形成／ジェンダーとキャリア形成／雇用の変化とキャリア形成／インターンシップ／経済記事の読み方／企業・業界分析／キャリア基礎講座(数的処理)／キャリア基礎講座(文章表現)

※コミュニケーション学部の演習科目は基幹科目として開講しています。

特集2 学びながら学部を選べる「キャリアデザインプログラム」

～ロゴマーク・入試日程が決定～



2年次からの学部選択

CAREER
DESIGN
PROGRAM

本学は、キャリアデザインプログラムの2017年4月スタートに向けて着々と準備を進めています。1年次は東京経済大学4学部の基礎を学びながら自分に合った学部を選択し、2年次以降は各学部に所属することができます。さらに4年間を通じて、な

りたい自分に近づくためのキャリア力を鍛えることを目的とし、本学が進めてきた就業力強化の集大成ともいえるプログラムです。

2017年度入試では、50名（4学部定員を含む）を募集します。内訳は、AO入試で15名、一般入試・センター試験利用入試で35名を予定しています。

特徴① 各学部の特徴を学んでから選択

経済、経営、コミュニケーション、現代法の基礎を1年次に履修し、高校生の段階では見極めにくい「学部の選択」を実際に学んでから決めることができます。

1年次に履修する各学部の基礎科目

経済：社会経済学入門

経営：会社入門、流通マーケティング入門

コミュニケーション：コミュニケーション学入門、社会調査入門

現代法：リーガルリテラシー入門

特徴② 学部を横断しながら専門を極める

2年次からは描く方向性や関心に基づいて履修します。通常は所属学部生以外履修することができない専門的な授業もありますが、学部の垣根を越えて履修することが可能です。各学部を横断しながら、自分だけの将来を設計することができます。

設置される科目群 金融、広告、環境、福祉、情報、グローバルビジネス

特徴③ 4年間のキャリア教育がプログラム生をバックアップ

4年間一貫して、プログラム生専用の少人数制「キャリアデザイン・ワークショップ」を受講することにより、自身が思い描く未来に向かって進んでいく知恵とチカラを身につけることができます。また、正課外では「大倉進一層キャリア塾」を立ち上げ、実社会で活躍する卒業生や専門家を招き、自分の未来に関してより現実味を持って深く考える機会も設けます。



東経大インフォメーション

Information 1

新任役職者紹介

2016年4月1日付で4学部長、全学共通教育センター長、ならびに図書館長が新たに就任しました。

■経済学部長

経済学部教授 こじま たけし **小島 健**

〔任期：2年〕〔EU経済論 他 担当〕



経 歴

1982年3月 東京都立大学経済学部卒業
 1982年4月 横浜国立大学大学院経済学研究科修士課程入学
 1985年3月 同 大学院経済学研究科修士課程修了〔経済学修士〕
 1985年4月 名古屋大学大学院経済学研究科研究生
 1986年4月 同 大学院経済学研究科博士後期課程入学
 1990年3月 同 大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学
 1990年4月 同 経済学部助手
 1995年4月 立正大学経済学部助教授
 2002年4月 同 経済学部教授
 2008年4月 東京経済大学 経済学部教授

■経営学部長

経営学部教授 こんどう ひろゆき **近藤 浩之**

〔任期：2年〕〔消費者行動論 a・b 他 担当〕



経 歴

1985年3月 慶應義塾大学経済学部卒業
 1987年3月 同 商学部卒業
 1987年4月 同 大学院商学研究科修士課程入学
 1989年3月 同 大学院商学研究科修士課程修了〔商学修士〕
 1989年4月 同 大学院商学研究科博士後期課程入学
 1992年3月 同 大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学
 1992年4月 同 大学院商学研究科研究生
 1996年4月 東京経済大学 経営学部講師
 2008年4月 同 経営学部教授
 2014年4月 同 学長補佐



■ コミュニケーション学部長

コミュニケーション学部教授 ^{せきざわ ひでひこ}
関沢 英彦
〔任期：1年〕〔広告論、コミュニケーション戦略論 他 担当〕



経 歴	
1969年3月	慶應義塾大学法学部卒業
1969年4月	株式会社博報堂入社（～1981年11月）
1981年12月	株式会社博報堂生活総合研究所（～2001年3月）
1996年6月	同 所長（～2001年3月）
2001年4月	株式会社博報堂 〔博報堂生活総合研究所所長〕（～2003年3月）
2003年4月	東京経済大学 コミュニケーション学部教授

■ 現代法学部長

現代法学部教授 ^{はがい まさみ}
羽貝 正美 〔任期：2年〕〔現代の行政 a・b 他 担当〕



経 歴	
1979年3月	新潟大学法文学部卒業
1979年4月	東京都立大学大学院社会科学研究科修士課程入学
1981年3月	同 大学院社会科学研究科修士課程修了〔法学修士〕
1981年4月	同 大学院社会科学研究科博士課程入学
1987年3月	同大学院社会科学研究科博士課程 単位取得満期退学
1988年4月	新潟大学法学部助教授
1992年4月	同 法学部教授
2000年10月	東京都立大学大学院都市科学研究科教授
2005年4月	公立大学法人首都大学東京都市環境学部教授
2011年4月	東京経済大学 現代法学部教授

■ 全学共通教育センター長

経済学部教授 ^{あそう ひろゆき}
麻生 博之 〔任期：2年〕〔哲学 a・b 他 担当〕



経 歴	
1991年3月	北海道大学文学部卒業
1991年4月	同 大学院文学研究科修士課程入学
1994年3月	同 大学院文学研究科修士課程修了
1994年4月	同 大学院文学研究科博士後期課程入学
1998年3月	同 大学院文学研究科博士後期課程修了
1998年4月	日本学術振興会特別研究員
1999年3月	学位授与（北海道大学大学院）〔博士（文学）〕
1999年4月	東京経済大学 経済学部講師
2011年4月	同 経済学部教授



■ 図書館長

コミュニケーション学部教授 ^{にしがき} 西垣 ^{とおる} 通

〔任期：2年〕〔情報社会論 a・b 他 担当〕



経 歴

1972年4月 東京大学工学部卒業
 1972年5月 日立製作所入社
 1982年9月 学位授与（東京大学大学院）〔工学博士〕
 1986年4月 明治大学法学部助教授
 1991年4月 同 法学部教授
 1996年4月 東京大学社会科学研究所教授
 2000年4月 同 大学院情報学環教授
 2013年4月 東京経済大学 コミュニケーション学部教授

Information 2

2016年度入試報告

2年連続で志願者が増加。推薦・AOは過去最高に。

2016年度入試志願者は、合計数で2年連続増加となりました。推薦・AO等が過去5年で最も多い852名となり、一般入試前期も4年ぶりに5000名を超える志願者を集めました。

年度ごとの志願者数（単位：名）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
推薦・AO等	682	674	523	707	852
一般入試前期	5,303	4,663	4,062	4,703	5,165
センター利用試験前期	6,006	4,964	4,910	5,438	5,187
一般入試後期	542	601	471	889	807
センター利用入試後期	260	178	200	264	271
合計	12,793	11,080	10,166	12,001	12,282

Information 3

経営学部3年 伊藤^{ばん}伴さんがエベレスト登頂に再チャレンジ

4月8日（金）に日本を出発、5月中旬登頂予定



写真は昨年、エベレスト登山中に撮影したものです。今回の帰国は5月下旬となります。

昨年、日本人最年少でエベレスト登頂を目指した本学経営学部3年の伊藤伴（いとうばん）さんは、2015年4月25日（土）、ベースキャンプ滞在中にネパール大地震に襲われました。伊藤さんは雪崩や暴風にさらされながらも幸いなことにけがはなく、無事に下山できました。ベースキャンプからの撤退後は現地でボランティア活動に熱心に取り組み、5月16日（土）に日本へ帰国。6月30日（火）には学内で報告会を行いました。

あれから約1年、伊藤さんは本年もエベレスト登頂にチャレンジすることになりました。4月8日（金）に日本を出発し、4月22日（金）にエベレストのベースキャンプ入り。山頂へのアタックは5月中旬を予定しています。

伊藤伴さんのコメント

大学生のうちにエベレストの頂上に立ちたい

昨年は皆様から多大なるご支援、ご協力をいただき、世界最高峰のエベレストに挑戦することができました。しかしながらネパール大地震の影響で登頂することは叶わず、ネパールでのボランティア活動を行ってから帰国しました。帰国してからは学業に復帰し、日本アルプスなどを登るトレーニングを続けてきました。また、ネパール支援のため大学の関ゼミナールの募金活動に参加させていただいたほか、エベレスト隊で一緒だったタレントのなすびさんが立ち上げたネパール復興支援ファンド「しゃくなげの花プロジェクト」にも参加させていただきました。

今年1月、前回お世話になったガイドの方から、今年もエベレストに遠征隊を出すご連絡がありました。昨年申請した入山許可証の有効期限が2年間延長されたほか、未使用の酸素ボンベなどもそのまま使えるため、昨年よりも割安で再挑戦できるとのことでした。雪崩事故に遭遇し、山が怖いと思う時もありました。しかし、それ以上にエベレストの頂上に立ちたいという思いが勝り、なおかつ大学生のうちに成し遂げたいという思いもあり、エベレストに再挑戦することを決めました。今回は、1期を休学してチャレンジしています。

Information 4

2015年度TKU進一層表彰式

学芸、資格、スポーツや文化、ゼミ活動でのめざましい活躍を評価

2015年度、「学芸」や「資格取得」、「課外活動」の分野で努力し、目覚ましい成果を残した学生や団体などを表彰する「2015年度 TKU ^{しんいっそう}進一層表彰式」を2016年3月9日（水）、大倉喜八郎 進一層館（フォワードホール）で行いました。

この表彰は、優れた論文や作品などに授与される「A O I 学芸部門」、難関資格合格者に授与される「資格取得部門」、スポーツや文化活動、ゼミ活動などで優秀な成績を残した学生・団体に授与される「課外活動部門」の3部門があります。

表彰式であいさつに立った堺憲一学長は、東京経済大学の建学の理念である「進一層」^{しんいっそう}に触れ「この言葉は『退一歩』^{たいいっぽ}の逆を意味している。退いてはいけないことの重要性を示しているが、『進一層』はただ前に進むだけを表したものではない。細心の注意を払いつつも、チャレンジする精神を表している。受賞者は今回の受賞を胸に、これからも『進一層』^{しんいっそう}の気概を忘れずに、チャレンジしてほしい」と激励しました。

日商簿記検定1級を取得し「資格取得部門」で表彰された^{もろひでたか}師秀鳳さん（経営学部4年）は「表彰されてとてもうれしい。最終目標は公認会計士なので、これからも勉強を続けていきたい」と目標に向けて気持ちを新たにしていました。

東京経済大学の学生として初めて箱根駅伝に出場し、優秀個人賞（父母の会会長賞）を受賞した陸上競技部の吉村匠さん（経営学部4年）は「努力が評価されて受賞することができた。この表彰に恥じないようにしたい」と語りました。



Information 6

年間 14,000 名超が利用。100 円朝食、2016 年度も継続中

2015 年度から全授業日程で実施している「100 円朝食」は、父母の会と大学生協食堂が協力し、学生に朝食を摂取する習慣を身につけてもらい、健康維持と増進を図ることを目的として 2014 年度にスタートした取り組みです。昨年度は 145 日間で、延べ 14,000 名の学生が利用しました。この取り組みは今年も実施の予定です。



2015 年度 100 円朝食実施結果

	実施日数 (日)	食数 (食)
4 月	15	1,620
5 月	18	1,869
6 月	22	2,281
7 月	18	1,821
9 月～10 月	26	2,543
11 月	18	1,743
12 月	17	1,550
1 月	12	1,081
合計	146	14,508

100 円朝食の実施期間

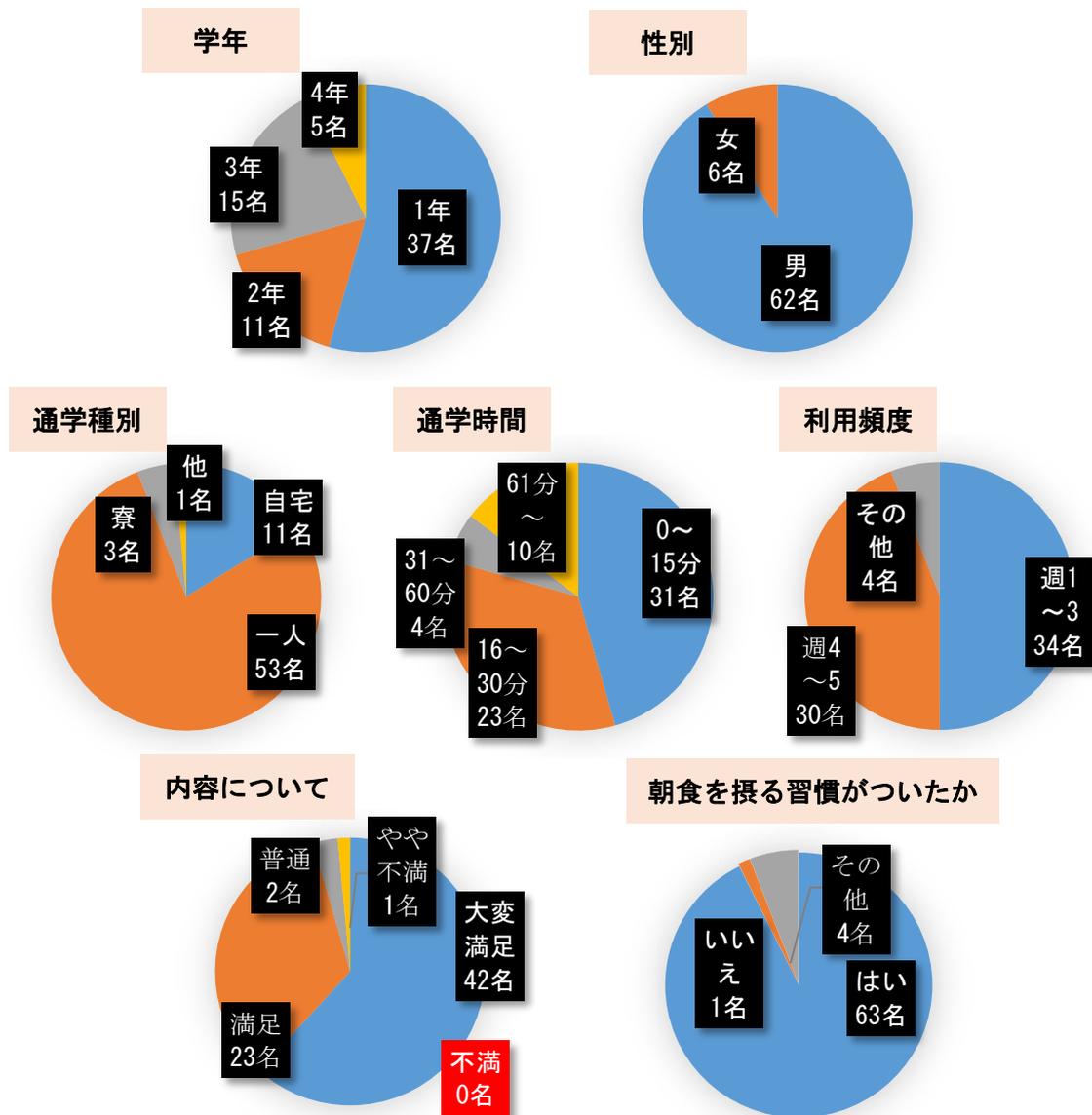
実施日程：I 期 2015 年 4 月 8 日 (水)
～2015 年 7 月 22 日 (水)
※73 日間
II 期 2015 年 9 月 18 日 (金)
～2016 年 1 月 25 日 (月)
※73 日間
提供時間：08:00～08:50、1 日 100 食

2015 年度 100 円朝食を利用した学生の意見

- 朝食をしっかり摂るため、授業に集中して取り組めるようになった。(経営 1 年・男・一人暮らし)
- 規則正しい生活、早起きして朝食を食べ授業に出席するという生活リズムができて良い。1 日を元気に過ごせます！（現法 3 年・男・一人暮らし）
- 朝から学校に来ているため授業に遅れることもなくなり、学習時間も増えた。また、友だちや他の学生団体、サークルの仲間と一緒に食事を取ることで、学生同士の親睦を深めることができた。(経済 4 年・男・一人暮らし)
- 1 限がない日に朝食を食べてから図書館で勉強する習慣がついた。(経営 1 年・男・一人暮らし)



2015 年度 100 円朝食利用者アンケート（対象学生：68 名）



2016 年度実施予定

実施期間：【1 学期】2016 年 4 月 8 日（金）～2016 年 7 月 22 日（金）

【2 学期】2016 年 9 月 21 日（水）～2017 年 1 月 23 日（月）

※土日祝日を除く授業実施日（補講日および定期試験日は除く）

朝食内容：①ご飯（中 or 大） ②小豚汁 ③おかずメイン 1 品 ④副菜 2 品

実施場所：葵陵会館 1 階 生協食堂

提供時間：8：00～8：50

提供価格：100 円（1 食あたり生協通常価格 300 円を父母の会が 200 円を負担しています）

提供食数：1 日あたり 100 食



対象者：学部学生

Information 6

東京経済大学大学案内を 5 月 20 日（金）に発行



「Space 2017」と「ゼミする東経 100 カラット」が間もなく登場します

キャリアデザインプログラムや進一層科目についての紹介、大学の学びや学生生活など、大学のすべてを受験生にわかりやすく説明した大学案内「Space 2017」を、5月20日（金）に発行する予定です。

大学ウェブサイトでは、大学案内と連動した企画「ゼミする東経 100 カラット」と題して、ゼミで活躍する 100 人の学生の声を紹介していきます。大学案内紙面上で紹介しきれなかった在学生のゼミでの活躍をウェブサイトで紹介することにより、受験生に東京経済大学をより身近に感じてもらうことができます。「ゼミする東経 100 カラット」は公開後も、複数回にわたりゼミを追加更新していきます。



「Space2017」の表紙（上）と「ゼミする東経 100 カラット」トップページ（下）。

Information 7

2016 年度入学式举行

満開の桜が新入生をお迎え

東京経済大学は、2016年4月1日（金）、国分寺キャンパス 100 周年記念館で入学式を举行し、学部・大学院をあわせて 1636 名の新入生を迎えました。堺憲一学長は、式辞で「大学は大きな学びを得るところです。大きな学びとは、将来に向けてみなさん自身の考え方を鍛えることや、夢や目標に向かって努力することに集約されます。そのために学びを通して、みなさんはぜひ自分を知り、そのうえで社会と自然を知ってください。大学生活が実り多いものとなるよう願っています」と述べ、新入生に期待を寄せました。

今回の入学式は、音声と映像をリンクさせる演出を行いました。スクリーンには、学長をはじめ登壇者が読み上げた原稿と関連する写真が映し出され、耳の不自由な方はもちろん、一般の参

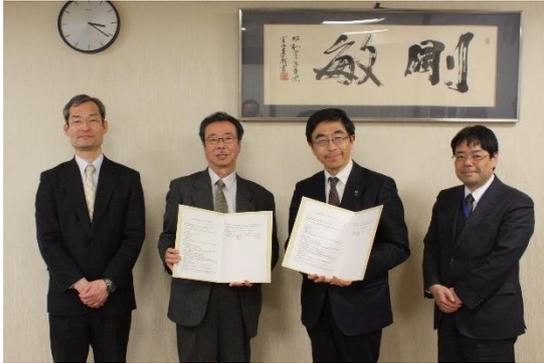


加者にも、より大学を理解してもらえよう配慮しました。

Information 8

都立武蔵村山高校と、高大連携教育協定締結

本学の連携協定校は全 17 校に



東京経済大学は、東京都立武蔵村山高等学校（東京・武蔵村山市）と、2016年3月22日（火）に高大連携教育協定を締結しました。本学にとっては17校目の連携協定校となります。

国分寺キャンパス学長室で行われた調印式には、武蔵村山高校から川瀬徹校長と澤崎陽彦副校長が、本学からは堺憲一学長、竹内秀一副学長が出席し、協定書を取り交わしました。

川瀬校長は「東経大武蔵村山キャンパスと武蔵村山高校は同市内にあり、生徒にとって身近な大学。これまでも本校野球部やサッカー部が東経大の武蔵村山グラウンドを利用させていただいた。これからは科目聴講や図書館利用などを通じて、さらに交流を発展させていきたい」と述べました。

Information 9 その他

●短期日本語・日本文化研修プログラム

中国・韓国・豪州より 15 名が参加

東京経済大学では「日本語・日本文化研修プログラム」を2006年度から毎年開催しており、今回で12回目となります。研修生は、日本語授業と並行して富士山バスツアーや茶道・書道・着物体験、家庭訪問など日本文化を体験することになっています。

今年は、協定校である中国の對外経済貿易大学と雲南師範大学文理学院、韓国の平澤大学の学生に加え、東京経済大学のある国分寺市とオーストラリアのマリオン市が国際姉妹都市であるという縁から、同国、フリンダース大学からも研修生が来日し、総勢15名が2月14日（日）から2月28日（日）までの2週間研修に参加しました。

研修生は来日直後「建築に興味があり、東京スカイツリーや日本武道館と中国の建物を自分の目で見比べたい」「日本語が流暢な父と祖母に育てられ、幼いころから日本に興味があったのでとても楽しみ」「母国の文化を日本人へ伝えたい」など、期待や意気込みを熱く語っていました。

将来日本で働きたいとの声も

2月26日(金)には研修生による日本語での発表会が行われ、スピーチやディスカッション、落語などが披露されました。スピーチでは「日本の食文化」や「社交辞令」といったテーマで発表が行われ、社交辞令についてスピーチをした学生からは「日本人はよく謝るが、相手への尊敬の意を表しているので良いことだと思う」との意見がありました。



ディスカッションでは「日本の良いところ、良くないところ」と「ペットを飼うなら犬か猫か」というふたつのテーマについて、2グループに分かれ活発な議論が行われました。「日本の良いところ、良くないところ」では「日本人は秩序正しく行動する」という意見がある一方で「恥ずかしがり屋で、自己主張が少ない」との指摘もありました。研修終了後、修了証書を受け取った研修生からは「また日本に来たい」「将来、日本で働きたい」という声が聞かれました。

●2016年度特別企画講義の開講について

特別企画講義とは、本学の専任教員が企画し、テーマに最もふさわしい、第一線の研究者、企業人、専門家を講師として迎えて行う授業です。一般の方にも公開しており、時節に即した内容で好評を得ています。

科目名	担当教員	講義概要
オリンピックから現代を見る	コミュニケーション学部 准教授 遠藤愛	オリンピックイヤーである今年は、歴史学や経営学、文化人類学、メディア論の研究者、オリンピックに直接携わる実務家が独自の観点から、オリンピックを分析し講義を行います。
資本市場の役割と証券投資	経済学部 教授 熊本方雄	証券業界の第一線で活躍されている講師の方々をお招きし、実務家の視点から金融について深く学ぶことができる講義です。 (野村證券株式会社提供講座)
我が国の租税制度と税理士制度	経営学部 准教授 板橋雄大	経済活動や社会生活を行う上で避けて通れないのが「税」です。本学出身の現役税理士が講師となって税のしくみ等について講義を行います。 (東京税理士会寄付講座)
仕事、レジャー、そしてライフスタイル	コミュニケーション学部 教授 渡辺潤	大学生が自分の将来の生活や生き方を考える上で「レジャー」と「ライフスタイル」に目を向ける必要があります。豊かな社会における豊かな生活とは何かを考える講義です。



●図書館キャラクターの名前は「とけぼん」に決定！

東京経済大学図書館では1月9日（土）から1月29日（金）にかけて『図書館キャラクター命名コンテスト』を行い、学生をはじめ教職員からも応募があり、57点の作品が集まりました。

このコンテストは図書館に親しみをもち利用してもらうため、2年前に誕生したマスコットキャラクターに名前を付けてもらうというもの。親しみやすさ、東経大らしさ、図書館のキャラクターであること、男女問わずかわいがってもらえる名前であることをポイントに図書館スタッフと教職員有志で組織する図書部メンバーで選考にあたり、「東京経済大学を略して『とけ』+本の形をしていて、かわいく『ぼん』という発想で誕生した、松浦朋佳さん（経済2年）の作品「とけぼん」が最優秀賞に輝きました。3月16日（水）、図書館で表彰式が行われ、大岡玲図書館長から賞状と副賞が贈られました。



●2020年に迎える、創立120周年に向けて

東京経済大学は、1900（明治33）年、明治・大正期の実業界の雄である大倉喜八郎により、赤坂葵町（現在の東京・虎ノ門「ホテルオークラ」隣接地）に創立された大倉商業学校を前身としており、2020年には創立120周年を迎えます。現在は120年史編纂をはじめ、いくつかの記念事業の準備を進めております。

【東京経済大学 総合企画部 広報課】

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34

TEL : 042-328-7724 FAX : 042-328-7768 email : pr@s.tku.ac.jp